

# 砧地区コミュニティ交通

## 協議資料（抜粋版）

-目次-

1. 運行ルート全体位置図…………… 1
2. 運行ルートの道路状況…………… 2
3. 交通安全対策(案)…………… 4

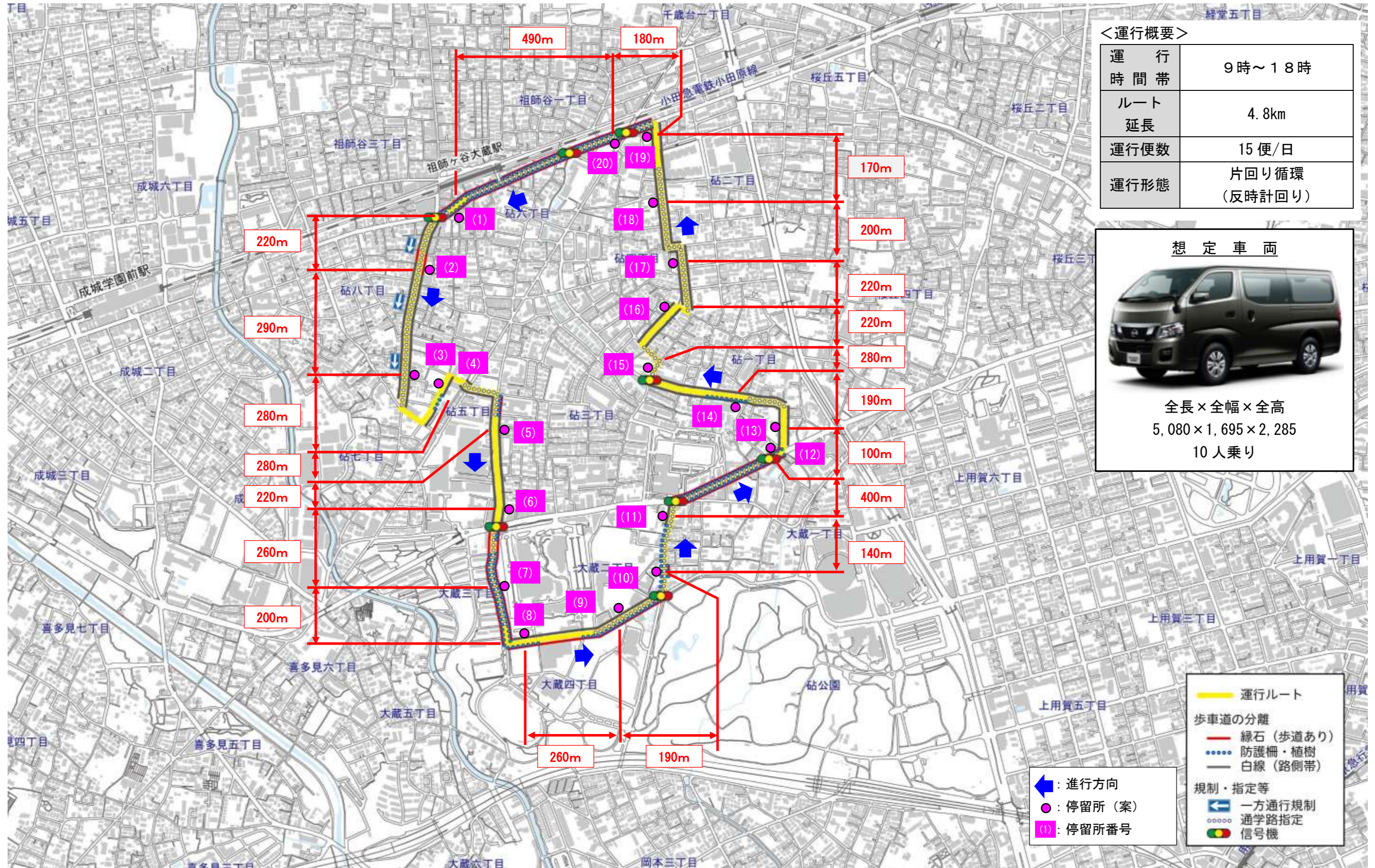
平成 30 年 9 月

世 田 谷 区

※資料中の運行ルート・バス停候補地はあくまで素案であり、決定したものではありません。

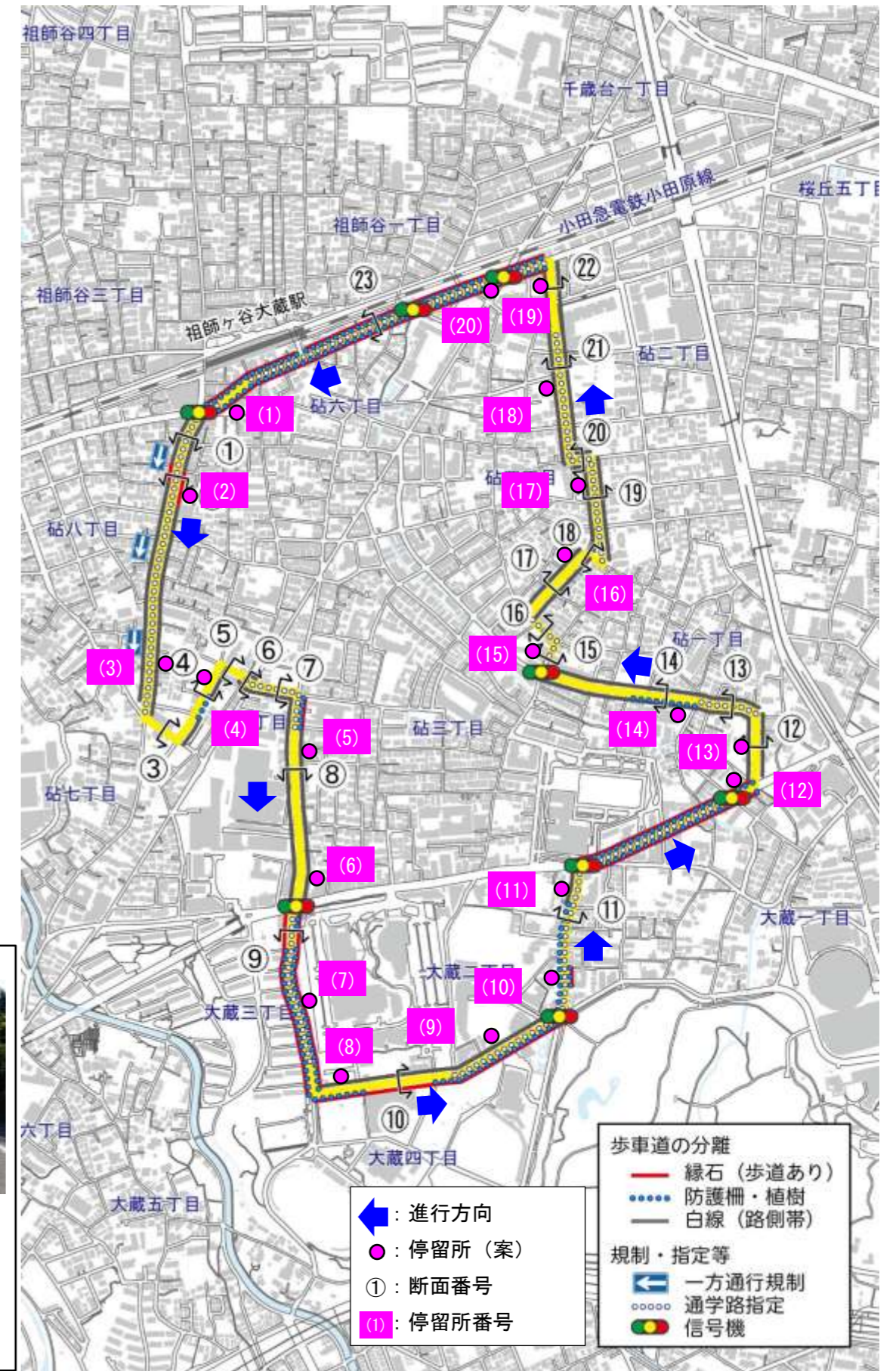
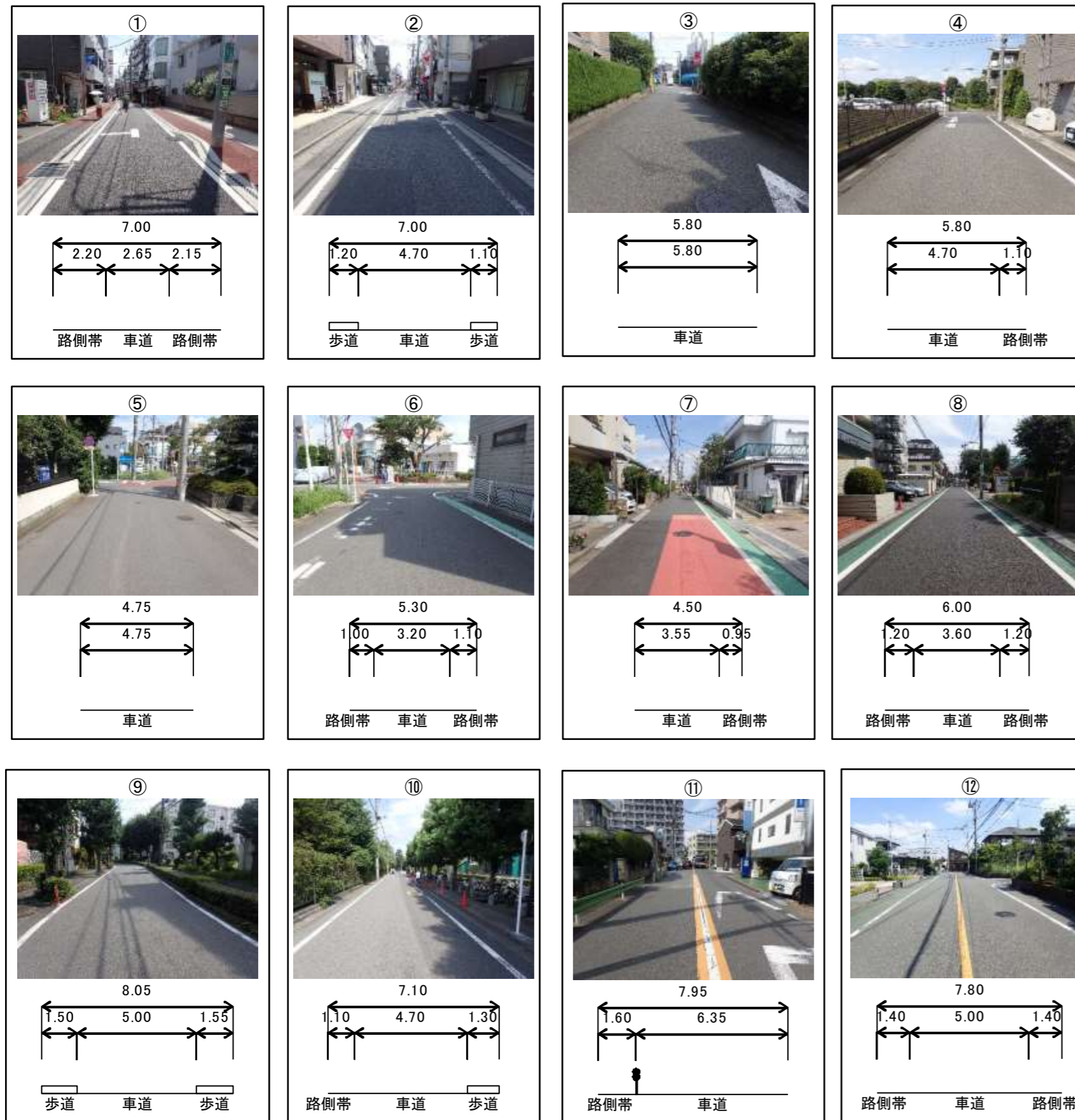


# 1. 運行ルート全体位置図





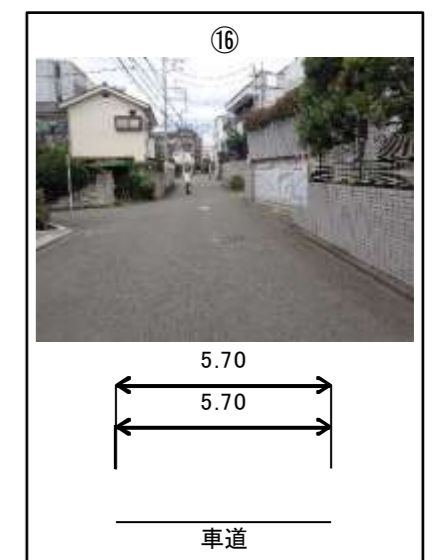
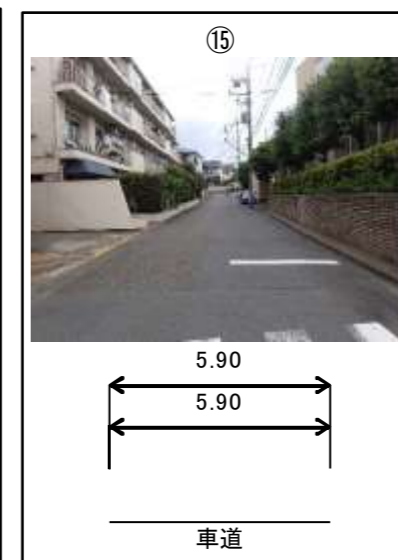
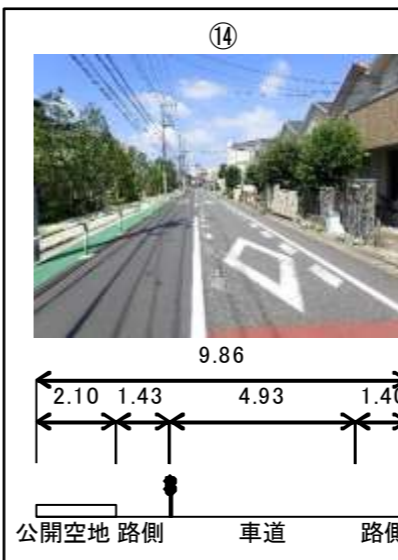
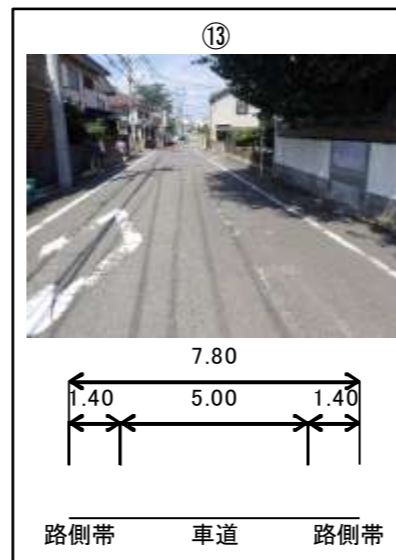
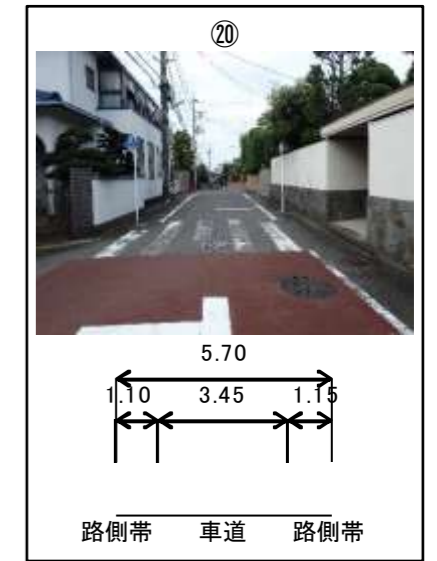
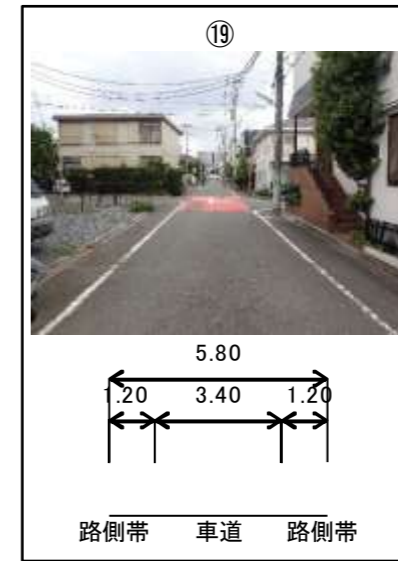
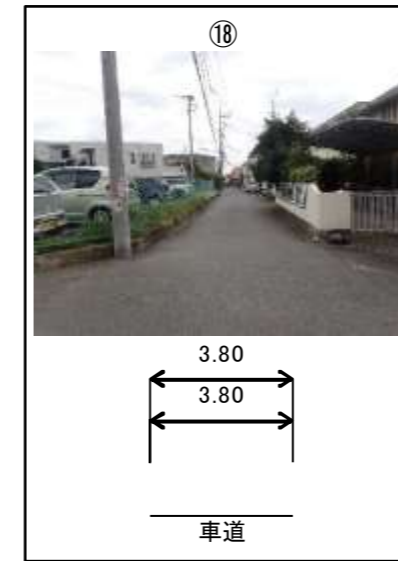
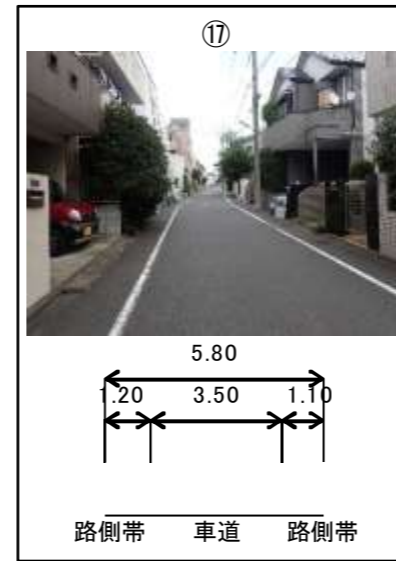
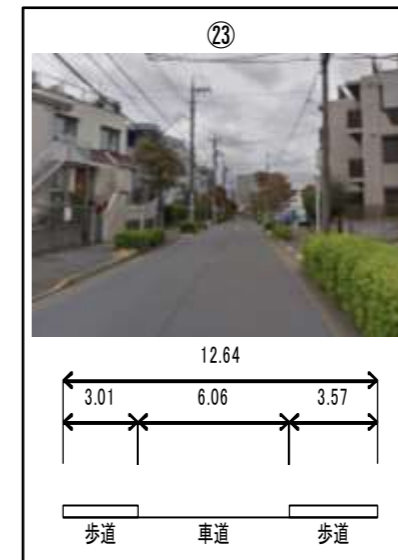
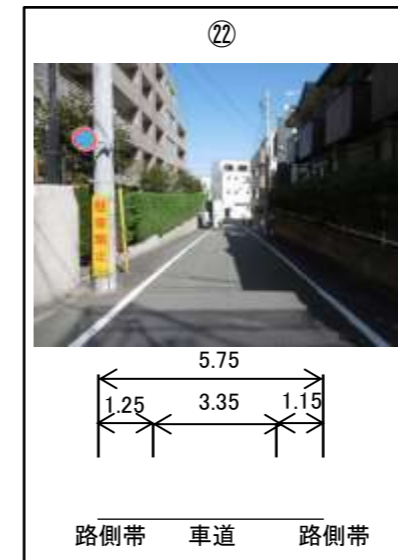
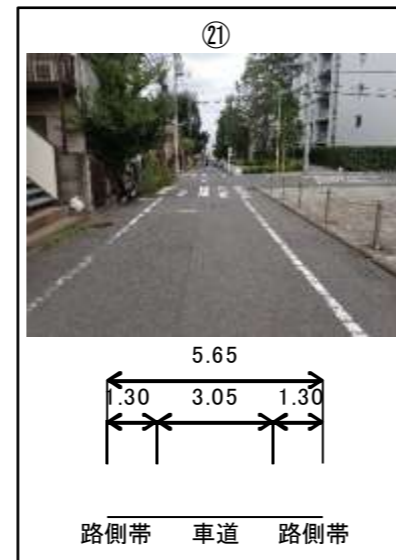
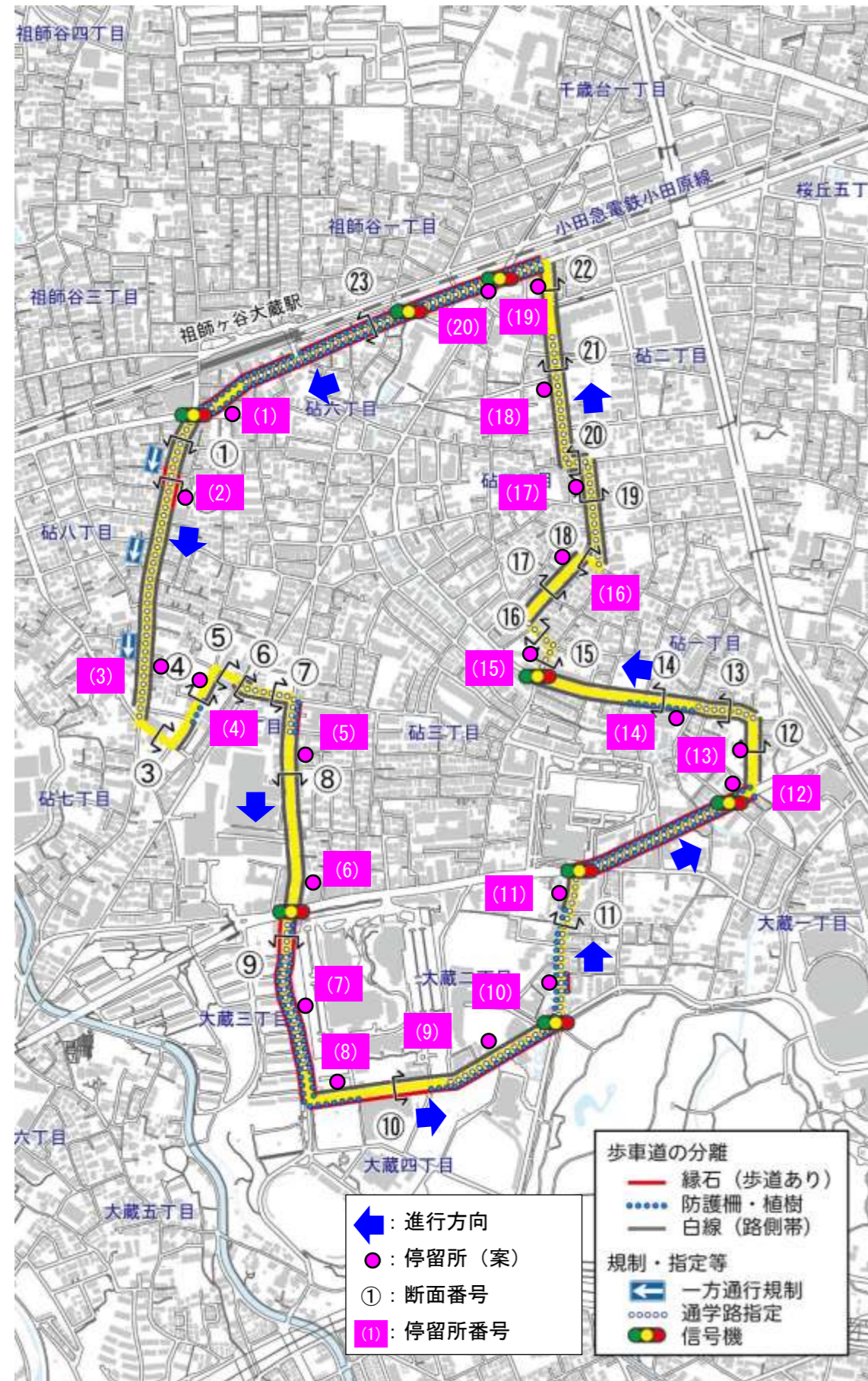
## 2. 運行ルート of 道路状況 (1/2 (①~⑫断面))



※各断面の写真は、進行方向 (反時計回り) の向きに撮影したものである。



## 2. 運行ルートの道路状況 (2/2 (13~24断面))



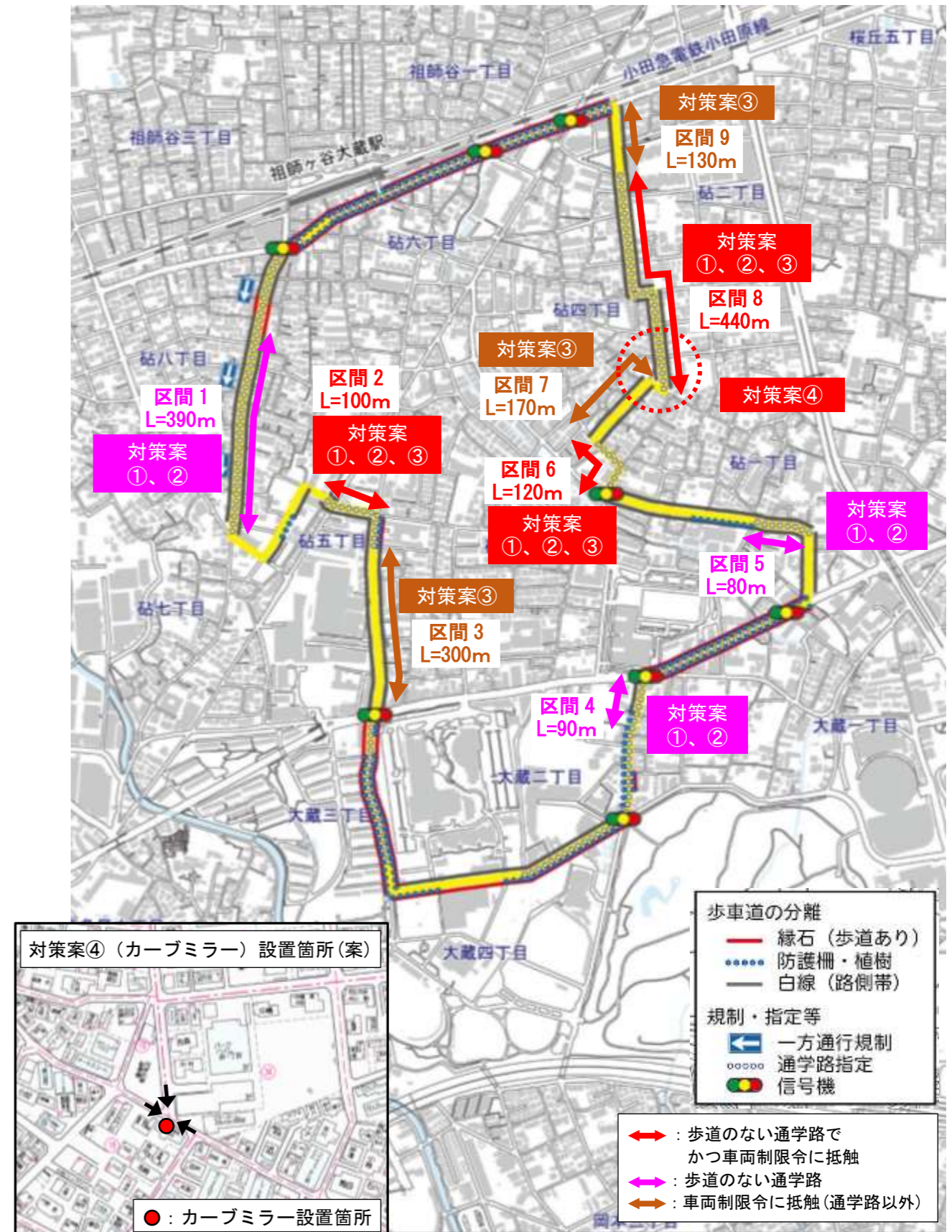
※各断面の写真は、進行方向 (反時計回り) の向きに撮影したものである



3. 交通安全対策（案）

表 安全対策一覧

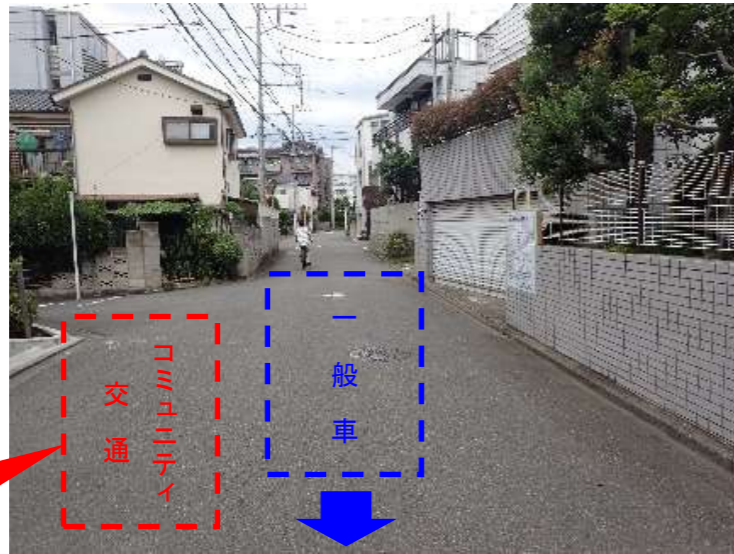
対象箇所	対策案	対策イメージ
通学路	①路面標示シートの設置	
	②通学路標識（電柱）の設置	
車両制限令 抵触区間	③乗務員の運転 マニュアルの作成	※次頁参照
	④カーブミラーの設置	



### ③乗務員の運転マニュアルの作成

#### a. 車両制限令の抵触区間が短い場合のすれ違い方法

- ・目視にて対向車の有無を確認し、対向車がいる場合には、コミュニティ交通車両は、広いスペースで対向車が通過するまで停車する。

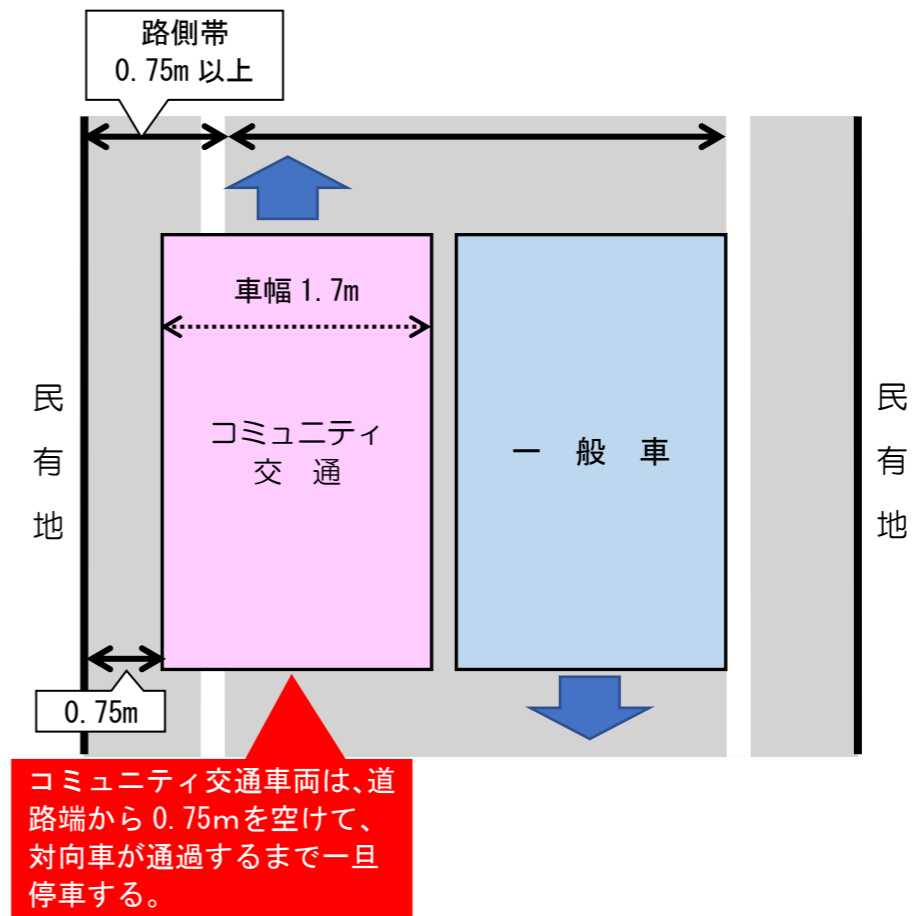


コミュニティ交通車両は、広いスペースで停車

図 コミュニティ交通と一般車のすれ違い方法

#### b. 車両制限令の抵触区間が長い場合のすれ違い方法

- ・車両制限令に抵触する区間において、路側帯の幅員が0.75m以上ある場合には、コミュニティ交通車両は、道路端から0.75mを空けて対向車が通過するまで停車する。
- ・上記のすれ違い方法を盛り込んだ運転マニュアルを作成し、安全運転を徹底する。



コミュニティ交通車両は、道路端から0.75mを空けて、対向車が通過するまで一旦停車する。

図 コミュニティ交通と一般車のすれ違い方法

- ・路側帯が0.75m未満の場合には、道路端に停車する。
- ※断面⑥は、路側帯が0.75m以上であるが、道路端に停車してすれ違いを行う。